

# 中学校英語科『活用問題』を利用するに当たって

岩手県立総合教育センター

## 問題作成に当たっての基本的な考え方

中学校英語科における「活用」とは、「言語活動そのもの」をさします。（『活用』に関する指導資料」岩手県教育委員会，2008）「活用問題」は教科書の單元ごとに，身近な英語使用の場面で，お互いの気持ちや考えを伝え合う言語活動を想定して作られています。問題を解くためには，複数の既習事項を組み合わせ活用すること，「話すために読む」，「聞いたことについて書く」などのように，それぞれの技能を有機的に結びつけて活用することが求められます。

## 問題の使用に当たって

### 授業の中で・・・

#### ●単元のまとめ

問題は單元ごとに作られています。単元の最後に「活用問題」を位置づけることで，「活用」を意識した授業展開を取り入れた単元の指導構想を立てることができ，学習や指導の振り返りをすることもできます。

#### ●言語活動のテーマ

「活用問題」を使って授業を展開することができます。「聞く」，「話す」の活動を加えたり，ペアやグループの学習形態を取り入れたりすることで，総合的な言語活動に発展させることができます。

#### ●既習事項の復習

「活用問題」に取り組みせることで，既習事項の総合的な復習をさせることができます。問題の場面設定や設問の条件を変えることで，難易度や活用する知識・技能を変えることができます。

### 家庭学習として・・・

#### ●「活用」を家庭学習で

授業で学習したことを，別の場面設定や条件の下で活用させる課題として「活用問題」を利用することができます。週末課題や長期休業中の課題としては，語彙や文法のドリルと併用することで学習効果を高めることができます。

#### ●授業と連動した家庭学習

「活用問題」を利用することで授業と家庭学習を連動させることができます。授業で「活用問題」に取り組む前に，必要な言語材料の練習や参考になる表現の暗唱などを家庭学習として行わせることができます。また，「活用問題」に取り組むことで明らかになった課題に家庭学習で取り組みさせることで，知識・技能の習得を促すことができます。

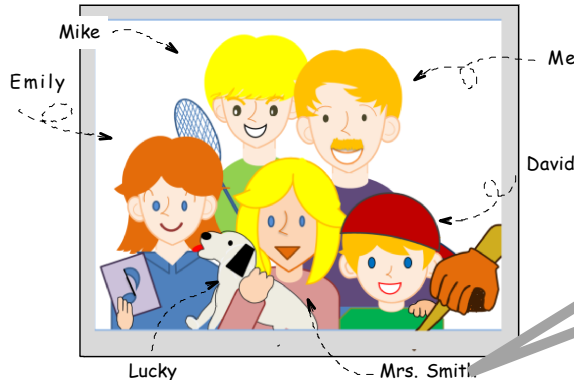
## 問題について

「活用問題」は、下に示すように言語活動のプロセスに沿って構成されています。「活用問題」に繰り返し取り組むことで活用への習熟が図られ、コミュニケーションに必要な思考力・判断力・表現力等が育成されます。

### 7 スミス先生の家族

目標タイム：15分  
実施の目安：1年 Unit6～

英語の時間に、スミス先生が家族の写真を見せてくれました。スミス先生の家族についていろいろな質問しています。先生とみんなの対話を読んであとの問いに答えましょう。



- 生徒1 : How many \*children do you have?  
Mr. Smith : I have three children. This is Emily. This is Mike. And this is David.  
生徒2 : Does Mike play tennis?  
Mr. Smith : No, he doesn't. He plays badminton. He is a very good player.  
生徒2 : Is he a high school student?  
Mr. Smith : Yes, he is. He speaks Japanese very well.  
生徒3 : Is Emily a high school student, too?  
Mr. Smith : No, she's not. She is a teacher. She lives in America.  
生徒4 : What does she teach?  
Mr. Smith : She teaches music. She plays the piano very well.  
生徒5 : Does Mrs. Smith have a dog?  
Mr. Smith : Yes, she does. She likes animals.

### 4 英語での表現

事実、自分の考えや気持ちなどを伝えるために、英語で表現します。

## 言語活動のプロセス

### 1 場面や状況の把握

タイトル・問題文などから、場面設定や状況を把握します。

### 2 情報の取り出し

様々なテキスト（文章、絵、図表、グラフなど）から必要な情報を取り出します。

### 3 情報の整理

取り出した情報を、目的に合わせて整理します。

1 クラスのみんなと話し合い、わかったことを表の①～⑤の欄に日本語で記入し、スミス先生の家族についてまとめましょう。

| 名前・年齢              | 職業            | 住んでいるところ | 好きなもの、得意なことなど      |
|--------------------|---------------|----------|--------------------|
| Mr. Smith<br>(47)  | 学校の先生<br>(英語) | 日本       | ・ギター演奏<br>・キャンプが趣味 |
| Mrs. Smith<br>(45) | 主婦            | 日本       | ①                  |
| Emily<br>(23)      | 学校の先生<br>②( ) | ③        | ④                  |
| Mike<br>(17)       | 高校生           | 日本       | ⑤                  |
| David<br>( )       |               |          |                    |

2 上の表を完成させるために、あなたもクラスのみんなに続いて、デイビッド (David) のことについてスミス先生に質問してみましょう。質問は3つ以上考えましょう。

① \_\_\_\_\_

② \_\_\_\_\_

③ \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

## 採点や事後指導について

「正答例と解説」を利用して採点や事後指導をする際には、英語としての正しさだけに注目するのではなく、以下のことも大切に考えます。

- ① テキストから取り出した情報に基づく解答になっているか。
- ② 場面や状況に合った表現か。
- ③ 既習事項を活用しているか。